

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2020（令和2）年 9 月 15 日

設置・運営主体	沖縄市		
設置主体	沖縄市		
経営主体	沖縄市		
事業所（施設）名	沖縄市立母子生活支援施設 レインボーハイツ	種別	母子生活支援施設
所在地	〒 904-0032 沖縄県沖縄市諸見里2-7-8		
電話・FAX	電話： 098-933-2562	FAX：	098-933-2562
Email	ko_kateia103@city.okinawa.lg.jp		
URL			
施設長氏名	翁長 大貴（おなが だいき）		
調査対応担当者	翁長 大貴（おなが だいき）（所属、職名：施設長）		
利用定員	10世帯	開設年	昭和 49 年 6 月 1 日

## 【職員の状況に関する事項】

## ①職員体制

	施設長	母子指導員 （定数2名）	少年指導員	個別対応職員	保育士	調理員
常勤職員数	1	0	0	0	0	0
非常勤職員数	0	2	1	0	0	1
計	1	2	1	0	0	1

	心理士	相談員	事務員	嘱託医	その他	計
常勤職員数	0	0	0	0	0	1
非常勤職員数	0	0	0	1	0	5
計	0	0	0	1	0	6

非常勤職員の常勤換算（注1） 4 名

（注1）非常勤職員それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

## 有資格者数

社会福祉士	1
保育士	1
栄養士	0

臨床心理士	0
調理師	2
教員免許	2

精神保健福祉士	0
介護福祉士	1

前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 0名	非常勤： 3名
	退職	常勤： 0名	非常勤： 2名



【施設の状況に関する事項】

① 開設年月日 昭和49 年 6 月 1 日

② 建物等の状況

(1) 建物面積	394.31 ㎡	
	1 世帯あたり	81.8 ㎡ (計算式: 建物延べ床面積合計 ÷ 定員世帯数)
居室平均面積	1 世帯あたり	34.2 ㎡ (計算式: 建物延べ床面積合計 ÷ 定員世帯数)
(2) 敷地面積	627.73 ㎡	
	1 世帯あたり	52.3 ㎡ (計算式: 敷地面積合計 ÷ 定員世帯数)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	平成	22 年 (平成22年4月1日新築移転)
(5) 居室数: ( ) 人部屋 ( ) 室で記載して下さい。 2人部屋: 1室 4人部屋: 9室		

③ 施設設備の概要: 主な設備等や特徴的な設備等を記入して下さい。

バリアフリースイール、バリアフリー居室(一階)

【ボランティア・実習生の受け入れについて】

① ボランティアの受入

・前年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数) 1 人

入居児童へのダンスレッスン講師。

② 実習生の受け入れ

・前年度における実習生の受け入れ数(実数) 1 人

本庁(沖縄市役所)による社会福祉士実習生の受け入れに関連し令和元年8月14日に1名の受け入れを行っている。

【苦情対応】

窓口設置  有  無

第三者委員会の設置  有  無

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・施設内にて意見箱の設置を行っています。  
・毎月の行事や、居室の防災点検、母との定期面談を通して、意見を聴取しています。

【評価を受審するに当たり、評価機関に知っていて欲しいこと】

経営層が考えていること、利用者の状況、評価の着眼点にない独自の取り組み・工夫などを自由にご記入ください。

【経営層が考えていること】

令和元年12月～令和2年4月まで、施設内改修工事が行われ、居室においてはより過ごしやすい環境の整備を整えております。稼働率の向上に向け施設に関する広報周知活動を施設内だけでなく本庁（市役所内）でも積極的に行っています。また、入居者の多様なニーズや課題に対応できるよう、他機関との連携強化に努めています。

【利用者の状況】

若年母子世帯、不登校児童のいる世帯、親族の協力が無い世帯、DV被害世帯といった各々の世帯で抱えている問題が様々です。

【独自の取り組み】

●面談時の食事提供

母親の職業上、帰宅した後の夜間帯に面談を組まざるを得ない状況があることから、母親の家事負担軽減の為、面談時、母子への食事提供を行っています。

●雨天時のコインランドリー家事代行支援

施設内にランドリー室を完備していないことから、雨天時には母親の要望に応じて（特に未就学児の子がいる世帯）の家事代行としてコインランドリー代行支援を行っています。

●不登校児童らへの調理支援

学校にいけない児童らがいる場合、児童らと共に昼食づくり（調理支援）を行い生きる力を育んでいます。